

新生安平町

昭和27年の分村から53年の時が流れ再び一つのまちになりました。

この53年間にそれぞれが培ってきた歴史や伝統を大切にしながら、あらたなまちづくりが始まります。



町章

「AB」を元に、安平川となだらかな丘陵を持つ豊かな住環境を意図しました。やさしい風のそよぐ、さわやかな自然に抱かれて発展する安平町を表現しています。



カントリーサイン

優駿のふるさととして力強く走る馬、小包でおなじみの雪だるま、特産品のメロン。安平町を象徴するものがデザインされています。



早来地区

駿馬のふるさと、酪農の里として知られている早来地区には、牧歌的風景の中でのんびり風と戯れる、素敵なひとときがあふれ、素朴な自然が四季折々の顔も見せています。4月になると富岡りんくう公園には水芭蕉、夏には鶴の湯温泉のハス、秋には、あたりの山々の紅葉と鮮やかな彩りに染まります。さらにそんな自然の中でアウトドアが満喫できます。ときわ公園にはテニスコートや野球場、野外スケートリンク、パークゴルフ場、キャンプ場、温水プールやアリーナがあります。

また、日本の酪農史の中でも先駆的な役割を果たし町の発展に大きく貢献してきたのが酪農。中でも、昭和8年に日本で初めてチーズが生産された「チーズ発祥の地」。その象徴である木製サイロが今でも残っています。

安平町

